

環境活動レポート

【 第 5 版 】

< 期間 : 2016年4月 ~ 2017年3月 >

発効日 : 2017年4月25日



< 目次 >

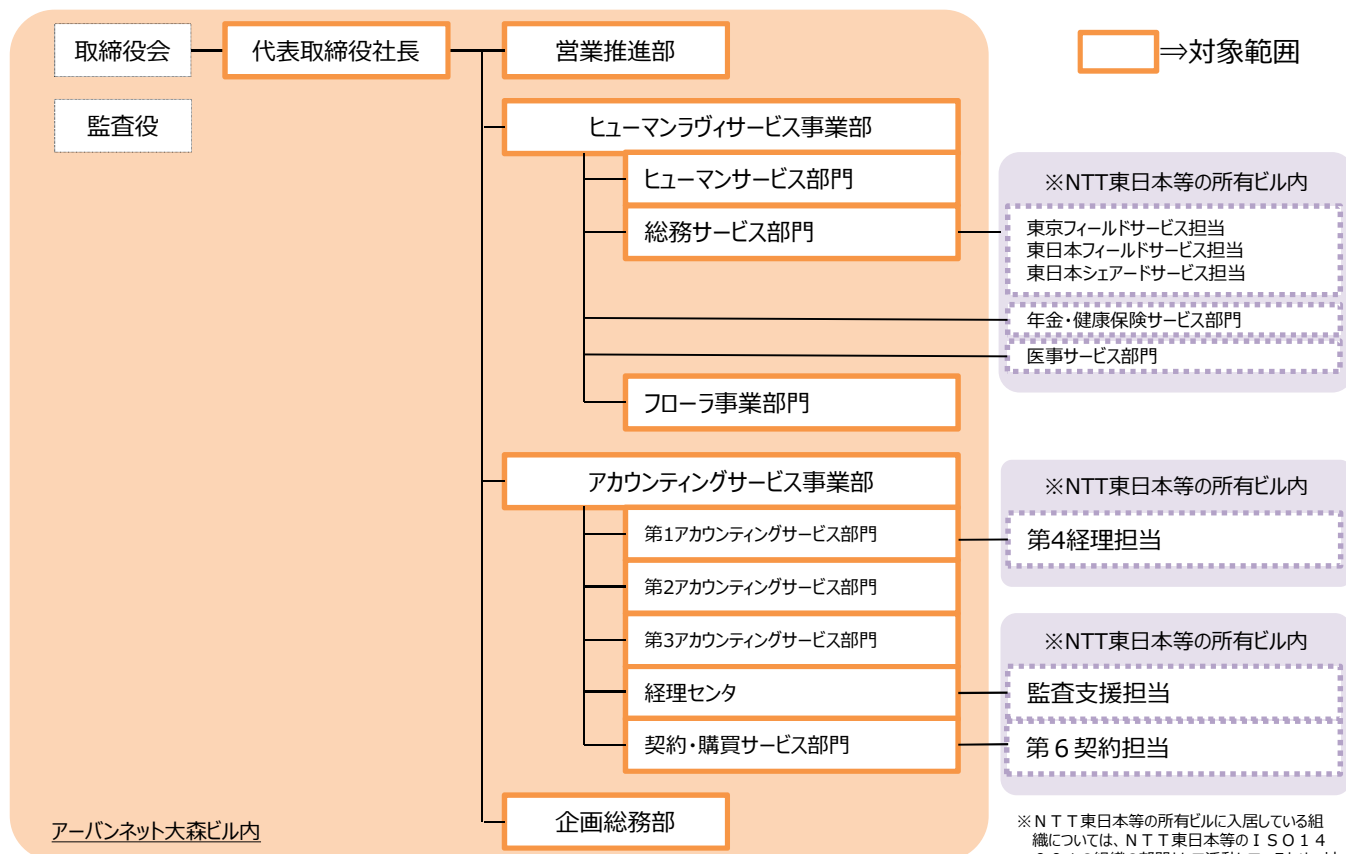


項目		ページ
1	事業概要	1
2	組織図（対象範囲）	
3	環境管理実施体制	2
4	環境方針	3
5	環境目標	4
6	環境活動計画	5
7	活動目標と実績	6
8	活動結果の評価（1）活動内容	7
	活動結果の評価（2）活動状況	8-9
9	環境活動関連法規一覧	10
10	内部監査内容の状況	
11	外部とのコミュニケーションの状況	11
12	代表者による全体評価と見直し結果	

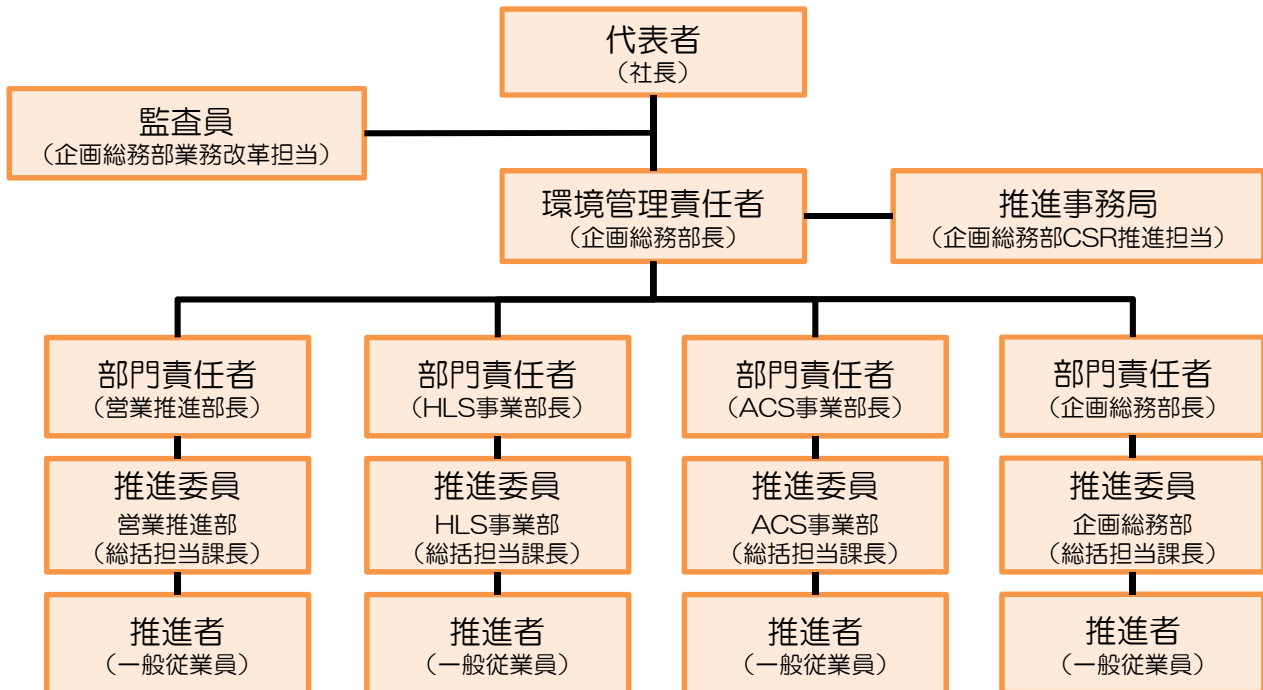
1. 事業概要

事業所名	株式会社エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東日本
代表者	代表取締役社長 星野 睦
所在地	東京都大田区大森北2丁目1番1号 アーバンネット大森ビル
認証登録範囲	本社（東京都大田区大森北2丁目1番1号） アーバンネット大森ビル2F～9F
事業内容	経理・財務・人事・給与・福利厚生など間接業務に関するアウトソーシング及びコンサルティング業務 等
事業規模	①従業員数（対象範囲） 861名 ②床面積 7,125.81㎡ ※2016年4月1日現在
環境管理責任者	取締役企画総務部長 金子 陽之
連絡先	電話：03-5767-8488 FAX：03-3768-4879 URL：http://www.nttba-east.co.jp/

2. 組織図（対象範囲）



3. 環境管理実施体制



役割	責任及び権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の制定、誓約 環境管理責任者を任命 環境経営資源（資金、人、施設・機械装置等）を確保する 取り組み状況の評価と見直し並びに指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標、環境活動計画を立案 環境管理活動全般の構築・運用 環境管理活動実施状況を経営者へ報告
推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、環境目標等を従業員に周知する 関連する環境目標及び活動計画の実施、活動状況の確認 関連する手順の作成及び運用管理 緊急事態の対応手順書の作成、対応策の試行、訓練、記録 問題点の抽出、是正・予防措置 関連作業に関する環境上の教育・訓練
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 関連する環境目標及び活動計画の実施・活動状況の確認 関連する手順の作成及び運用管理 緊急事態の対応手順書の作成、対応策の試行、訓練、記録 問題点の抽出、是正・予防措置 関連作業に関する環境上の教育・訓練
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> 部門の環境目標及び活動計画の実施・取りまとめ、部門責任者への報告 部門内環境改善の提案等の取りまとめ
監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> 部門の環境目標及び活動計画の実施 環境改善の提案、実施

4. 環境方針

<環境理念>

株式会社NTTビジネスアソシエ東日本は、NTTグループの一員として、「NTTグループ地球環境憲章」を踏まえ、地球環境保全に向け全社で取り組みます。共通系業務（経理・財務・購買・総務・人事・給与等）のアウトソーサーとしての事業活動をとおして、あらゆるニーズにお応えし、高水準のサービスを提供していくにあたり、従業員一人ひとりが地球環境保全を自覚して積極的に行動し、環境にやさしい社会の実現に貢献していくこととします。

<行動指針>

1. 環境経営に積極的に取り組むために、事業活動における環境目標を定め、継続的な環境負荷の低減に努めます。
 - (1) オフィス活動において電気の使用量削減に取り組みます。
 - (2) 廃棄物の発生抑制と節水意識を醸成し、3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進に努めます。
 - (3) 事務用品のグリーン購入を推進するとともに、OA用紙の削減に努めます。
2. 環境マネジメントシステムの維持に向け、自主的な環境保全活動の取り組みを継続改善するとともに、環境関連法規制の遵守に努めます。
3. 環境教育・啓発活動の継続的な実施により、環境保全に関する知識と意識の高揚に努めます。
4. 環境情報を開示し、社内外とのコミュニケーションを図ります。

2016年 6月 20日
株式会社エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ東日本

代表取締役社長 **星野 睦**

5. 環境目標

取組項目	単位	基準値	環境目標		
		2010年度 (H22)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)
二酸化炭素排出量の削減 (削減目標率)	t-CO2	336	249 (▲26%)	245 (▲27%)	242 (▲27%)
電気使用量の削減 (削減目標率)	千kwh	684	506 (▲26%)	499 (▲27%)	492 (▲28%)
廃棄物排出量の削減 (kg)	t	128	前年度以下にする (101 t 以下)		
廃棄物の最終処分量の低減 (削減目標率)	%	6	4 (▲2%)	3 (▲3%)	3 (▲3%)
OA用紙の削減 (A4換算枚数) <一人当たり使用枚数> ※4/1人員数	枚/人	13,786	11,305 (▲18%) →10,440 (前年度以下)	10,891 (▲21%) (前年度以下)	10,477 (▲24%) (前年度以下)
水使用量の削減 (削減目標率)	m ³	9,899	前年度以下にする (H27 : 9,701m ³ 以下)		
グリーン購入の取り組み	%	88	前年度以上に (H27 : 92%以上)		
その他	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動の中で「カイゼン活動」を積極的に展開することにより環境負荷の低減に努める ・環境保全活動など、地域社会との友好なコミュニケーションの推進を図る ・生物多様性の保全に関する活動への積極的な参加 		

※計算に使用したCO₂排出係数：東京電力実績 0.491 (kg-CO₂)

※化学物質の使用はないので、目標の設定はなし

※OA用紙における枚数の定義：以下のとおりA4換算とする

・A3：1500枚/箱⇒3000枚/箱（2倍）、A4：5000枚/箱

※一人当たりの枚数換算は、該当年の4/1現在の人員数とする

6. 環境活動計画

<中期活動計画>

項目	実施内容
CO ₂ 排出量の削減 (電気使用量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ①空調温度設定 夏28℃ 冬20℃ ②ブラインドの効果的な利用 ③部分的消灯(昼休み・退社時) ④LED照明の導入 ⑤不要なOA機器の電源OFF(退社時、未使用時)
廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①ゴミ分別の徹底 ②廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を確認 ③ペーパーレス会議の推進 ④FAX受信データのPDF化 ⑤3Rの推進(エコ商品の購入推進、マイバックの利用促進、過剰包装の辞退等)による環境負荷や廃棄物の発生を抑制等
OA用紙購入枚数の削減 (A4換算枚数) (一人当たりの購入枚数)	<ul style="list-style-type: none"> ①両面印刷・集約印刷の推進 ②ICカード機能による誤印刷防止の徹底 ③ペーパーレス会議の推進 ④FAX受信データのPDF化 ⑤複合機の適正配置(台数・スペック)等
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な節水に向けた注意喚起の徹底 ・ビル管理と連携し、自動洗浄装置を設置等
グリーン購入の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ商品の購入推進 (OA用紙、文房具、筆記具を対象に購入比率の推進) <p>※NTTグループの調達基準に合わせた購入</p>
その他の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動の中で「カイゼン活動」を積極的に展開することにより環境負荷の低減に努める ・環境保全活動など、地域社会との友好なコミュニケーションの推進 ・生物多様性の保全に関する活動への積極的な参加

7. 活動目標と実績

取り組み項目		H28年度目標 (2016年)	目標 達成率	判定	年間	1Q	2Q	3Q	4Q	
二酸化炭素の削減結果 (kg-co2)		248,518	99%	△	計画	248,518	62,522	71,873	56,782	57,341
					実績	251,014	67,122	73,713	54,745	55,434
電気使用量の削減結果 (kwh)		506,147	99%	△	計画	506,147	127,337	146,380	115,645	116,785
					実績	511,230	136,704	150,129	111,497	112,900
廃棄物の 最終処分率 低減結果 (%)	総排出量 (kg)	125,503	98%	-	計画	125,503	34,172	27,332	31,320	32,679
					実績	128,039	28,559	30,055	24,665	44,760
	最終処分率	4%	92%	×	計画	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%
					実績	4.4%	5.0%	4.6%	5.8%	2.9%
OA用紙一人当たり購入枚数 の削減結果(枚/人)累計 ・A4で枚数換算 ・861人(H28.4.1現在)		10,440	115%	○	計画	10,440	2,795	5,156	7,525	10,440
					実績	9,082	2,717	4,743	6,919	9,082
<参考> OA用紙の 購入数 (箱)	A3	262	150%	-	計画	262	66	54	73	69
					実績	175	68	25	46	36
	A4	1,649	113%	-	計画	1,649	444	376	366	463
					実績	1,459	427	334	347	351
水使用量の削減結果 (m ³)		9,701	120%	○	計画	9,701	2,453	2,389	2,419	2,440
					実績	8,107	2,258	1,872	1,901	2,076
グリーン購入 の取り組み結果 (%)		92%以上	98%	△	計画	92%	92%	92%	92%	92%
					実績	90.4%	89.5%	96.2%	95.8%	80.2%
					※全購入品数：11,487点 ⇒ エコ商品の購入数：10,387点					
その他の取り組み				○	<ul style="list-style-type: none"> 各部門において「カイゼン活動」が積極的に展開 (カイゼン事例発表会の開催等) UN大森ビル周辺清掃活動・大田区の福祉施設によるパン販売協力 等、地域社会との友好なコミュニケーションが図れた 東京ベイ・クリーン大作戦、BA社主催荒川河川敷ゴミ拾い活動 多摩川クリーン作戦への参加 					

※判定例 目標達成=○、 目標未達成=△(5%内)、×(5%超)

8. 活動結果の評価

(1) 活動内容

項 目 実 施	取り組み結果・評価	判 定	次年度の取り組み
電気使用量の削減	※目標：506,147kwh⇒511,230kwh（実績） <目標達成率：99%> ・上期個別空調の使用量が大幅増（理由としては、H28.1実施のES調査の結果、室温への意見等が多かったため、適温するために使用増） ・下期、個別空調の使用について管理を徹底したことにより事務室フロアにおいては、目標クリア ・サーバ増によるOAコンセント使用量が微増	△	・従前からの取り組み徹底（継続実施） ・会議室などの事務室以外の空調使用管理の徹底 ・各フロアに、室温管理・その他環境項目の推進を実施いただく環境推進者を配置
廃棄物最終処分量の向上	※目標：最終処分量4.0%⇒4.4%（実績） <目標達成率92%> ・H29.2より文房具等の購入先が「アスクル社」へ変更となったが、その結果エコ商品購入率が低下 ・再生利用可能な廃棄物（産業廃棄物やOA用紙等）が増加すると最終処分量の値は良くなるが、廃棄物などの増加は本意でないため、次年度は目標を最終処分量から 一人当たりの排出量削減 へ変更	×	・紙削減 ・ゴミ分別徹底 ・OA用紙・筆記用具・文房具等の購入量削減
1人当たりOA用紙の削減	※目標：10,440枚/人⇒9,082枚（実績） <目標達成率115%> ・両面・集約印刷の浸透、ICカードによる誤印刷防止、ペーパーレス会議の推進もあり目標を大きく上回った（+15pt） ・複合機カウンタ数を把握・月次管理実施による意識啓発の成果もあった。 ・用紙削減だけでなく、カラー印刷の削減にも努め、大きな成果を上げた。（H27年度より約▲30%）	○	・従前からの取り組み徹底（継続実施） （まだまだ両面2in1印刷でよいもの、モノクロ印刷でよいものが見受けられるため、更なる徹底を図る） ・月次管理の継続
水の削減	※目標：9,701m ³ ⇒8,107m ³ （実績） <目標達成率120%> ・トイレの自動洗浄装置設置による削減効果大	○	・従業員への啓発活動の更なる推進を図る ・従業員増により影響もあるため、状況を常に把握しながら計画値の見直し等を検討
購入品推進	※目標：購入比率92%以上⇒90.4%（実績） <目標達成率98%> ・H29.2より購入先変更となったアスクル社での購入時、エコ対象商品でない商品の購入が増（2月：79% 3月：70%）	△	・アスクル社での購入時に原則エコ商品の選択を徹底
その他	■「カイゼン活動」の実施 ・発表大会を開催し、優秀な取り組みへ表彰実施（12月・2月） ■地域社会との友好なコミュニケーションの推進 ・大森ビル周辺ゴミ拾い活動（毎月20日。全9回（雨天中止：3回）延べ150名参加） ・ボランティアギフトプログラムの募集（8～9月）⇒H28申請者なし ・大田区うめき園（心身障がい者福祉施設）によるパン販売の実施（6回：4月・6月・8月・10月・12月・2月） ・新宿コミュニティ&チャリティバザー（12/14実施） ・マッチングギフトプログラムの実施（3/31） ■生物多様性の保全 ・東京ベイ・クリーン大作戦参加（6/13：お台場、9名） ・BA社主催「荒川河川敷ゴミ拾い活動」参加（10/29：2名） ・東京事業部と連携し多摩川クリーン作戦参加（11/16：6名）	○	・従前の取り組みの推進（継続実施） ・新たな取り組みの検討

※判定例 目標達成 = ○、目標未達成 = △（5%内）、×（5%超）

(2-1) 活動状況

電気使用量の削減



＜昼休み完全消灯＞



＜LEDデスクライトの配備＞



＜不要な照明のOFF、事務室照明のLED化＞



＜照明スイッチの明確化＞



＜空調機設定温度の遵守＞



＜扇風機の有効活用による空気循環＞



＜省電力自販機の導入＞



＜注意喚起ステッカーの貼付＞

OA用紙の削減・廃棄物排出量の削減

＜ペーパーレス会議の推進＞



＜ゴミ分別の推進＞



(2-2) 活動状況

水使用量の削減・その他の取り組み



<洗面所の節水の推進（自動水栓・擬音装置）>



<注意喚起ステッカーの貼付>



<注意喚起ステッカーの貼付>



<来訪者への節電に対する理解促進>



<自動洗浄装置の設置>

9. 環境活動関連法規一覧

1. 当社に該当する主な環境関連法規

	法令名称	監視・想定項目	主要内容	評価
1	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物 産業廃棄物 	<ul style="list-style-type: none"> 運搬又は処分は定められた業者に委託 一般廃棄物はビルの定めに従っての分別排出を実施 産業廃棄物は、発生時に契約・許可証・マニフェスト管理を実施 産業廃棄物管理票交付状況報告書の提出 	○
2	リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> パソコン・プリンター コピー機・FAX 等 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済み物品等は再生資源・再生部品として利用 	○
3	家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> テレビ エアコン 冷蔵庫 等 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物として排出する場合、運搬する業者等に適切に引き渡し、且つ料金支払いを実施 	該当なし
4	小型家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> 小型家電 (携帯電話、デジタルカメラ、時計、電子レンジ、扇風機等) 	<ul style="list-style-type: none"> 小型家電を廃棄する場合はリサイクルに努めている 	該当なし
5	グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> OA用紙 事務用品 	<ul style="list-style-type: none"> 購入するOA用紙、事務用品等はグリーン商品を購入している 	○

2. 違反・訴訟の有無

自ら実施した環境関連法規制の遵守状況の評価の結果、法規制の逸脱はありませんでした。関係当局から、違反の指摘は過去3年間ありませんでした。また、訴訟もありませんでした。

10. 内部監査内容の状況

- ・エコアクション 2.1 の要求事項に対する環境マネジメントシステムの適合性を判定した結果、ガイドラインや自主的に定めた環境方針、活動計画等に従った活動が確認できました。
- ・環境目標の達成度合いの有効性を確認し、重大な不適合箇所はありませんでした。
- ・目標達成できなかった項目については、しっかりと分析し、有効な取り組みを展開してください。また、各組織において環境への取組が形骸化されないよう実効的な対策の検討を期待します。

11. 外部とのコミュニケーションの状況

・地域社会との有効なコミュニケーションが保たれています。

(主な活動内容)

<荒川河川敷清掃ボランティア活動：10/29>
 ・参加者数：2名 ・会場：荒川河川敷



<多摩川クリーン作戦参加：11/20>
 ・参加者数：5名
 ・会場：国立市多摩川河川敷公園



<大森ビル周辺清掃活動（4~3月）>
 ・参加者数：各回15名程度



<うめのき園パン販売（4月・6月・8月・10月・12月・2月）>



12. 代表者による全体評価と見直し結果

達成状況	全項目で目標達成には至らなかったが、概ね計画通りの結果が得られたと考えている
運用結果	紙削減・電気使用量削減については、月次管理を徹底することで、無駄な利用を省くことが出来た。また、各拠点のクリーンオフィス・デスクの徹底を図ることで、インシデント撲滅・業務カイゼン・環境負荷低減へつながってきたと感じている。今後も継続的な活動が大切である。
次年度の取り組み	環境活動については、これまでの取組みの継続・徹底を実施し、事業計画にも掲げた三本柱「営業力の強化」「生産性の向上」「インシデントの撲滅」にしっかりと取組み、お客さま企業の事業発展を裏方より支えることで、引き続き、社会・地域貢献、環境負荷低減へ貢献していく。